

# 耕作放棄地を再生！ 地域と連携した農業と6次産業化の展開

令和2年11月時点

〔運営主体：社会福祉法人 つばさの会〕〔就労継続支援B型事業所 つばさ〕（石川県中能登町）

WEBサイト：<http://www.tubasanokai.jp/>

視察受入れ：可 報道機関受入れ：可（事前予約）

- 石川県中能登町にある就労継続支援B型事業所「つばさ」は、平成28年度から、耕作放棄地を活用し水稲、小麦などの生産を開始し、パンやみそなどの製造と販売を行ってきた。農業従事の障がい者は約10名。
- 平成30年度より、新たに耕作放棄地（0.95ha）を借り受け、「つばさ農場」として再整備し、大豆、野菜（にんにく、かぶ、スナックえんどう）などを無農薬で栽培する。地区内水稲農家への施設外就労を開始する。
- 中能登町が「どぶろく特区」の認証（平成26年度）を受けており、この活動を支援するため、伝統行事への参加なども行っている。自然栽培米を利用した米麴、甘酒と、その酒粕を使用したパン、ソフトクリーム、大豆を利用した味噌の製造、黒にんにくの加工等も行っている。

## 取組の内容

- ◆ 連携農家や地域とのむすびつきを重視する。
- ◆ 自社の農場面積の拡大と6次産業化の推進のため、障がい者スタッフの増員を行う。
- ◆ 近隣の道の駅に「カフェとりのす」食堂を開設し、農場の農産物を食材として提供。
- ◆ 平成30年度「農山漁村振興交付金」（農水省）を活用し、加工所（大豆等の乾燥調製施設）を整備。加工品の製造・販売に取り組む。

## 取組の効果

- ◆ 加工所を利用する農業者からの作業請負が拡大。
- ◆ 農園整備と障害者の作業の細分化に伴い、就労が6名（平成29年）から10名（令和元年）に増加。農場面積は1.35ha（平成29年）→2.30ha（令和元年）に増加。
- ◆ 就労においては、田植え時の苗運び等の作業受託で平均工賃を維持。乾燥調製の補助や、農産物や加工品の売上げの増加により工賃アップを目指す。

自然栽培にんにく



苗運びの施設外就労



加工所「むすびや」と命名



甘酒ソフト（カフェ）



鍋味噌（大豆加工品）

